

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日本赤十字社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3	
本票作成	部署名：日本赤十字社岡山県支部 総務課				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	医療事業（病院等の運営）、血液事業、看護師養成事業、国内災害救護、救急法等の講習普及事業等				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山赤十字病院		岡山市北区青江2-1-1	
	②	岡山赤十字玉野病院		玉野市築港5-16-25	
	③	岡山県赤十字血液センター		岡山市北区いずみ町3-36	
	④	岡山県赤十字血液センター 津山供給出張所		津山市高野本郷1272-9	
	⑤	日本赤十字社岡山県支部		岡山市北区丸の内2-7-20	
⑥	岡山県赤十字血液センター 表町出張所		岡山市北区表町1-5-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度 ( 1 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 0.9 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	9,727 t CO <sub>2</sub>			9,642 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	岡山赤十字病院		8,021 t CO <sub>2</sub>					
	②	岡山赤十字玉野病院		958 t CO <sub>2</sub>					
	③	岡山県赤十字血液センター		597 t CO <sub>2</sub>					
	④	岡山県赤十字血液センター 津山供給出張所		62 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	日本赤十字社岡山県支部		55 t CO <sub>2</sub>					
⑥	岡山県赤十字血液センター 表町出張所		34 t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

(岡山病院) 建築設備設計会社による設備診断を行い排出削減に取り組む。  
 (玉野病院) 継続的に節電対策を行うが、酷暑で7月上旬の電気使用量が前年度より大幅に上がっているため、大幅な削減は見込めない。  
 (血液センター3施設) 業務上常時稼働している機器も多く車両等使用回数の減少も難しい中、大幅な削減率は見込めず現状維持が現実的な目標であるという考え方である。  
 (支部) 講習等行事の回数もコロナ禍以前程度に回復しつつあり、電気使用量は増加傾向にある。また、長期間の猛暑により電気使用の制限が難しいため、大幅な削減は見込めない。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

(岡山病院) 施設課で日々の使用量を集計、その数値を基に建築設備設計会社が設備調整を行う。  
 (玉野病院) 機器の更新の際には省エネ機器の導入を積極的に検討することとしている。  
 (血液センター3施設) こまめに機器の電源や電灯を消す等の取り組みを継続することにより削減率がマイナスにならないよう、排出量が昨年度を上回ることはないよう努める。  
 (支部) 機器・設備の故障等により更新が必要な場合には、省エネ製品の導入を検討する。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山赤十字病院	建築設備設計会社による設備診断、蛍光灯のLED化
岡山赤十字玉野病院	給湯用ボイラーの更新及び施設内の蛍光灯をLEDに更新した。夏期・冬期の空調は中央管理室で時間帯や温度などを細かく調整し、無駄な冷暖房を抑えて節電を試みた。
岡山県赤十字血液センター、津山供給出張所、表町出張所	節電の継続的实施、所内での意識づけ
日本赤十字社岡山県支部	空調設備の段階的稼働、節電の継続

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山赤十字病院	建築設備設計会社による設備診断、蛍光灯のLED化
岡山赤十字玉野病院	まだ蛍光灯を使用している部署が残っているので引き続きLEDへ更新を進める。今秋に更新予定の厨房用空調設備で、劣化が激しい古い空調を一新することで性能が上がり、節電効果が期待される。
岡山県赤十字血液センター、津山供給出張所、表町出張所	機器更新時にはエネルギー使用量の削減を念頭において省エネ製品を採用する等の取り組みを行う。
日本赤十字社岡山県支部	従来での取り組みを継続する。また、機器・設備の故障等により更新が必要な場合には、省エネ製品の導入を検討する。

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--